

GEヘルスケア・ジャパン

<https://www.gehealthcare.co.jp/>

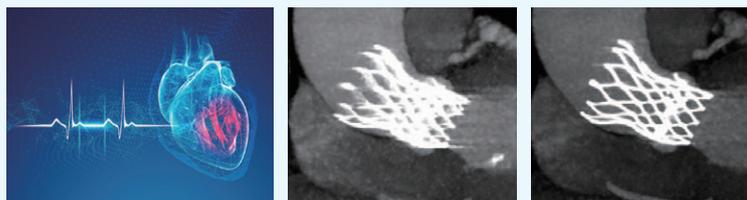
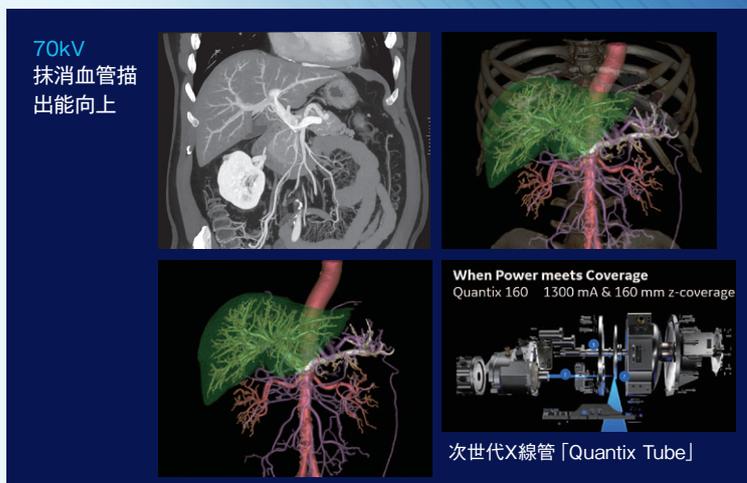
Building a world that works : より良い未来の創造にむけて

[主な紹介製品]

- MRI装置
- CT装置
- アンギオグラフィ
- 核医学装置
- マンモグラフィ
- Cアーム装置
- ヘルスケアデジタルソリューション
- 超音波診断装置
ほか



放射線部門だけでなく
施設に貢献するEdison
solutionsの数々



Snapshot Freeze2.0による心臓
全体のモーション抑制効果。

従来

SSF2

アドバンテージ ワークステーション 認証番号 : 20600BZY00483000
マルチスライスCTスキャナ Revolution 認証番号226ACBZX00011000

GEヘルスケアのブースでは、「Building a world that works : より良い未来の創造にむけて」をテーマに、インテリジェントな効率性で、患者さんのために最善を尽くす、そのために磨き上げてきたテクノロジーを搭載した画像診断装置やデータ分析・ソフトウェアサービスなどを紹介する。

◆CT

最新ハードとAI技術の融合

CTでは『最新ハードウェアとAIテクノロジーの融合』で質の高い医療に貢献する装置・アプリケーションを紹介。ハードウェアの一例としては次世代X線管「Quantix Tube」がある。これは、現在CTで唯一の最大1300mA、かつ160mmワイドボリュームスキャンが可能であり、低ノイズかつ高いコントラストイメージングにより、判断しにく

い淡い濃染部の確実な診断をサポートする。さらに、管電圧と管電流を同時に可変させるmA/kV synchronized switching dual energy撮影により、さらなる高精度・高画質な画像を提供する。また、アプリケーションでは冠動脈だけでなく心臓全体のモーションを抑制するSnapShot Freeze2.0を紹介する。まだ複雑さが残る心臓検査で安定した画像を確実に短時間に提供し、さらに心構造疾患（SHD）の術前・術後評価にも貢献する。

◆Edison Solutions

Edison アプリケーション

また、同社AI開発プラットフォームで開発された“Edisonアプリケーション”を紹介する予定である。放射線検査や画像診断の「質と効率の改善」を実現するためには、蓄積された

データをいかに活用するかが鍵となるが、蓄積されたデータは膨大で、人が手作業で使いこなすのは困難である。そこで期待されているのが、AI (Artificial Intelligence) や、BI (Business Intelligence) と呼ばれるデジタルツールとなっている。GEヘルスケアでは、Edison Solutionsという名のもとに、AIやBIなどを駆使して、読影の質と効率の改善や、放射線部門はもちろん、施設全体の業務効率や経営指標を改善するためのソリューションを提供している。

GEヘルスケアのブースでは、これらのAIやBIによる具体的な改善事例や導入効果、さらにはデータ活用のためのデータ管理基盤となり、マルチベンダーでのViewer活用を促進するVNA (Vendor Neutral Archive) 等のソリューションを紹介する。